

様式第1-2号（第3条第2項関係）

埼玉県エコアップ認証事業所 更新認証申請書

令和 3年 9月 6日

（あて先）  
埼玉県知事

申請者 氏名又は名称 川口土木建築工業株式会社  
住所 埼玉県川口市本町 4-11-6  
法人の場合は代表者の氏名 代表取締役 古川 元一  
電話番号 048-225-5111

埼玉県エコアップ認証制度実施要綱第3条第2項の規定により、埼玉県エコアップ認証事業所の認証について、次のとおり申請します。

1 事業活動の概要

ふりがな	かわぐちどぼくけんちくこうぎょう			
事業所の名称	川口土木建築工業株式会社（本社第1ビル、本社第2ビル、資材センター、春日部営業所、白岡営業所）			
事業所の所在地	〒332-0012 埼玉県川口市本町 4-11-6 （本社第1ビル） 〒332-0012 埼玉県川口市本町 4-16-15 （本社第2ビル） 〒333-0866 埼玉県川口市大字芝 6940 （資材センター） 〒344-0067 埼玉県春日部市八丁目 325 番地 （春日部営業所） 〒349-0217 埼玉県白岡市小久喜 674-3（白岡営業所）			
事業の内容	総合建設業 不動産業			
日本標準産業分類（細分類）	名 称	一般土木建築工事業	番 号	0 6 1 1
事業の規模	資本金 （万円）	21,000 万円	主要製品	土木請負一式 建築請負一式 住宅販売
	従業員 人数（人）	2 6 4 人	事業所の 敷地面積（㎡）	本社第1ビル 626 ㎡ 本社第2ビル 1,476 ㎡ 資材センター 2,422 ㎡ 春日部営業所 - ㎡ 白岡営業所 - ㎡ 合 計 4,524 ㎡
	（ ）		事業所の 延床面積（㎡）	本社第1ビル 1,452 ㎡ 本社第2ビル 1,970 ㎡ 資材センター 191 ㎡ 春日部営業所 48 ㎡ 白岡営業所 30 ㎡ 合 計 3,691 ㎡
地球温暖化対策 計画の提出状況	提出日：令和 3年 6月 21日			
認証の履歴	前回の認証日：平成 31年 1月 27日			
	前々回の認証日：平成 28年 1月 27日			
他のマネジメント システムの認証 取得状況	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14001 <input type="checkbox"/> エコアクション21 <input type="checkbox"/> エコステージ <input type="checkbox"/> KES <input type="checkbox"/> EES <input type="checkbox"/> グリーン経営認証 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ISO9001） <input type="checkbox"/> なし			

## 2 環境方針

※（対外的に公表しているものがあれば、その写しを添付すること。）

【環境方針の制定日： 平成 15 年 1 月 6 日】

（改定されていれば改正日： 平成 28 年 10 月 1 日）

1. 建設業にて生じる環境影響を特定し、その予防と継続的改善を図る。
2. 環境方針達成のために環境目標を設定し、全社員が目標達成を目指し活動する。
3. 事業活動における環境汚染の防止、環境保護に努める。
4. 環境関連法規制及び当社が同意するその他の要求事項を順守する。
5. 環境負荷低減を実現するために、環境マネジメントシステムを定期的に見直し、継続的に改善する。

## 3 環境負荷の現状

### （1）環境保全の取組のチェック結果

（別添「環境保全に関する取組チェックシート」の集計）

項 目	廃棄物	大気・水質	化学物質	節水・水	製品開発
達成率（％）	93	100	100	67	—
前回認証時達成率（％）	90	100	100	67	—
項 目	建築・開発	グリーン購入	環境教育	その他	
達成率（％）	88	40	82	63	
前回認証時達成率（％）	86	40	75	58	

### （取組に関する情報・説明）

<p>&lt;節水・水&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレの1回の排水使用量を抑える調整の実施。</li> <li>・利用者の節水意識の向上を目指した教育の実施。</li> <li>・節水対策機器への設備投資については、交換時に検討する予定。</li> </ul> <p>&lt;グリーン購入&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コピー用紙は、植林木パルプ配合、ECF（無塩素漂白）製品を使用中</li> <li>・消耗品購入の際は、エコマーク製品を優先購入している。</li> </ul> <p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページによる情報公開。</li> <li>・環境保全に関する団体等への参加・支援は今後検討する予定。</li> </ul> <p>&lt;CO2削減&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「かわぐちエコドライブ宣言」に基づき、「エコドライブ10のすすめ」の教育を実施し、燃費向上を図った。</li> <li>・毎月、社有車運行管理表により各車両の燃費及びガソリン使用量を把握し、改善を図った。</li> </ul> <p>&lt;廃棄物&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ等の分別方法を、職場の会議を通じて全社員に周知徹底を図った。</li> <li>・各フロア一別にごみを計量し、分別意識の改善を図った。</li> </ul>
--

(2) 環境への負荷のチェック結果

ア) 建物系 CO<sub>2</sub>排出量 (「算定報告様式 (建物系)」より転記)

項 目		29 年度	30 年度	1 年度	2 年度
CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年	145	144	139	148
原単位 (延べ床面積当たり)	t-CO <sub>2</sub> /	0.0393	0.0390	0.0377	0.0401
原単位の指標数	(床面積)	3685	3691	3691	3691

イ) 工場・現場系 CO<sub>2</sub>排出量 (「算定報告様式 (工場・現場)」より転記)

項 目		29 年度	30 年度	1 年度	2 年度
CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年				
原単位 ( 当たり)	t-CO <sub>2</sub> /				
原単位の指標数	( )				

ウ) 自動車燃料 CO<sub>2</sub>排出量 (「自動車燃料チェックシート」より転記)

項 目		29 年度	30 年度	1 年度	2 年度
CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年	51.0	44.7	41.2	42.2
原単位 (1 台当たり)	t-CO <sub>2</sub> /	1.6452	1.4419	1.3733	1.4552
原単位の指標数	(台数)	31	31	30	29

エ) 合 計 (ア+イ+ウ)

項 目		29 年度	30 年度	1 年度	2 年度
CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年	196.0	188.7	180.2	190.2
原単位 (延べ床面積当たり)	t-CO <sub>2</sub> /	0.0532	0.0511	0.0488	0.0515
原単位の指標数	(床面積)	3685	3691	3691	3691

(3) 二酸化炭素排出量及び原単位の過去3年間の目標と実績の比較

3年前の申請時の目標

年度	目標 排出量 (t-CO2)	基準値 (t-CO2)	増減量 (t-CO2)	増減 率 (%)	目標 原単位 (床面積当たり) (t-CO2/m <sup>2</sup> )	基準値 (床面積当たり) (t-CO2/m <sup>2</sup> )	増減量 (床面積当たり) (t-CO2/m <sup>2</sup> )	増減 率 (%)
30年度	209.8	210.3	△0.5	△0.2	0.0569	0.0571	△0.0002	△0.4
1年度	202.7		△7.6	△3.6	0.0550		△0.0021	△3.7
2年度	195.6		△14.7	△7.0	0.0531		△0.0040	△7.0
平均 増減率				△3.6				△3.7

過去3年間の実績（認証以降の排出量・原単位実績）

年度	CO2 排出量 (t-CO2)	基準値比 増減量 (t-CO2)	基準値比 増減率 (%)	CO2 原単位 (床面積当たり) (t-CO2/m <sup>2</sup> )	基準値比 増減量 (床面積当たり) (t-CO2/m <sup>2</sup> )	基準値比 増減率 (%)
基準値	210.3			0.0571		
30年度	188.7	△21.6	△10.3	0.0511	△0.0060	△10.5
31年度	180.2	△30.1	△14.3	0.0488	△0.0083	△14.5
32年度	190.2	△20.1	△9.6	0.0515	△0.0056	△9.8
平均 増減率			△11.4			△11.6

(4) 二酸化炭素排出量等の増減に関する情報・説明

(3年前の排出量目標の達成状況に関すること)

【目標の達成・未達成の結果】

電気・ガス使用量において、今年度実績(148.0 t-CO2/年)は、令和2年度目標(145.0 t-CO2/年)に対して3.0 t-CO2/年削減できなかったが、自動車燃料においては、今年度実績(42.2 t-CO2/年)は、車両の交換及び削減等で、令和2年度目標(50.6 t-CO2/年)に対して8.4 t-CO2/年削減できた。  
結果全体では、今年度実績(190.2 t-CO2/年)は、令和2年度目標(195.6 t-CO2/年)に対して5.4 t-CO2/年削減できた。

(5) その他環境に重大な影響を与える項目の実績及びその情報・説明

(別添「廃棄物等排出量実績」等に関するコメント)

一般廃棄物の発生抑制を図り、平成30年度～令和2年度までの3年間で、基準値10.47tの3.0%を削減する目標(令和2年度 10.15t、リサイクル率75%)に対して、令和2年度廃棄物発生量は、14.64tで目標を達成できなかったが、リサイクル率は平均79.9%で目標達成できた。

(6) 二酸化炭素削減対策等の取組状況

(別添・「二酸化炭素削減対策等チェックシート」の対策に関するコメント)

4 環境への負荷低減の目標

(1) 二酸化炭素の削減目標 (基準値：直近の3か年平均 186.4 t-CO<sub>2</sub>)

年度	目標排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	基準値 (t-CO <sub>2</sub> )	増減量 (t-CO <sub>2</sub> )	増減率 (%)	目標原単位 (床面積当たり) (t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> )	基準値 (床面積当たり) (t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> )	増減量 (床面積当たり) (t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> )	増減率 (%)
3年度	183.5	186.4	△2.9	△1.6	0.0497	0.0505	△0.0008	△1.6
4年度	182.1		△4.3	△2.3	0.0493		△0.0012	△2.4
5年度	180.8		△5.6	△3.0	0.0490		△0.0015	△3.0
平均増減率				△2.3				△2.3

(2) 二酸化炭素排出量等の削減目標に関する情報・説明

(電気使用量、ガス使用量、自動車燃料等に関すること)

令和3年度から令和5年度までの3年間で、基準値(186.4 t-co<sub>2</sub>)の3.0%を削減する目標(令和5年度 180.8t-co<sub>2</sub>)を達成する

(3) その他環境に重大な影響を与える項目の目標及びその情報・説明

(廃棄物等に関すること)

一般廃棄物の発生抑制を図り、令和3年度～令和5年度までの3年間で、基準値(過去3年の平均12.16t)の3.0%(廃棄物処分量11.8t、リサイクル率75%)を削減する。

## 5 目標達成に向けた具体的な取組

### (1) 二酸化炭素削減の取組

(電気使用量、ガス使用量、自動車燃料等に関すること)

#### 1) 使用電力削減の取組

- ①フロアの照明は必要箇所のみ使用し、無人区域における消灯の徹底を継続する。
- ②空調はフロアの室温を計測して、冷房時 28℃、暖房時 20℃の温度設定の徹底を図り電気使用量及びガス使用量の削減を図る。
- ③毎年 5 月から 10 月を夏のスタイル実践期間とし、事務室では軽装とする等の省エネに努める。
- ④昼休みの消灯を徹底する。
- ⑤電気設備・機器の新規設置及び交換が生じた場合は省エネタイプのもを使用する。
- ⑥OA機器の省エネ設定、不在時の電源OFFの徹底をする。

#### 2) 通勤、業務使用車両の燃料（ガソリン）使用量の削減の取組

- ①社有車の削減及び小排気量化を継続し、燃料使用量の削減を図る。
- ②定期的にエコ運転教育を実施し、効率的な運転により燃料使用量の削減を図る。
- ③アイドリングストップの実施を徹底し、使用燃料の削減を図る。

### (2) その他環境に重大な影響を与える項目の取組

(廃棄物等に関すること)

一般廃棄物の分別を徹底し、分類ごとに廃棄物の重量を計測、記録して、排出量の削減を継続する。

## 6 取組の実施体制

### (1) 地球温暖化対策推進者の役職・氏名

役職	建築管理部 部長	氏名	小島 正美
----	----------	----	-------

### (2) 担当組織名

建築管理部
-------

### (3) 各取組の分担や責任者の配置状況

(※組織図を添付) 推進者の位置づけが分かるもの 別紙のとおり
------------------------------------

## 7 取組の運用状況

### ・目標達成状況と取組実施状況の確認・点検概況

(内部環境監査の記録の写しを添付すること)

【内部環境監査日： 令和2年9月11日～令和2年9月23日】 地球温暖化対策推進者を中心にして、各責任者が目標達成と取組の進捗状況を月毎に、確認・点検を行っている。
---

## 8 評価・見直し

### ・代表者等による全体の取組の評価・見直し概況

(マネジメントレビューの記録の写しを添付すること)

【代表者の見直し日： 令和2年 9月28日】 代表取締役が全体の評価を行い、「目標」の確認を行った。
---

## 9 担当者・連絡先

担当者名	(所属) 建築管理部	(氏名) 石井 健一
連絡先	(電話) 048-224-5111	(FAX) 048-224-5174 (電子メール) <a href="mailto:kenichi.ishii@kawado.co.jp">kenichi.ishii@kawado.co.jp</a>

## 提出書類について

(このページの提出は不要。提出書類確認用チェックシートとして利用ください)

項 目	提 出 書 類 (1 部)
1 エコアップ更新認証申請	①本申請書一式 ※ ・追加事項がある場合、逐次ページ追加する
2 エコアップ認証EMS	①環境保全に関する取組チェックシート※ ②燃料等使用量の単位換算（建物系）、算定報告様式（建物系）※ ③燃料等使用量の単位換算（工場・現場）、算定報告様式（工場・現場）・・・対象があれば※ ④自動車燃料に関するCO2排出量（自動車燃料チェックシート）※ ⑤廃棄物等排出量実績（自己排出4カ年分）※ ⑥エコアップ認証にかかる目標達成のための具体的な取組（計画）と実施状況の確認・評価の記録 ※ （目標と削減達成における年間の取組活動状況がわかる書類：ISOなどのEMP、事業所独自の目標達成アクションプランや毎月のエネルギー実績表やグラフなど） ⑦会社全体の組織図（工場・支社・支店・営業所等が確認できるもの） ※ ⑧事業所一覧（複数の事業所がある場合） ⑨内部環境監査の記録 ※ ⑩マネジメントレビューの記録 ※ ⑪自動車の給油量・燃費管理表（任意） ⑫法令及びその他要求事項遵守評価表 ※ ⑬その他必要と認める書類  <注1> ①、②、③、④、⑤は県の指定様式。⑥以降の様式は任意の写し <注2> ②、③、④は同一の「エコアップ認証用CO2排出量換算シート」からの県の様式シート 「エコアップ認証CO2排出量換算シート」#6、#7、#8シートも提出する。
3 二酸化炭素削減対策等	①二酸化炭素削減対策等チェックシート ※ ②その他必要と認める書類
4 欠格要件	①欠格要件申告書（別紙） ※ ②その他必要と認める書類

※提出必要書類



別紙

埼玉県エコアップ認証事業所・欠格要件申告書

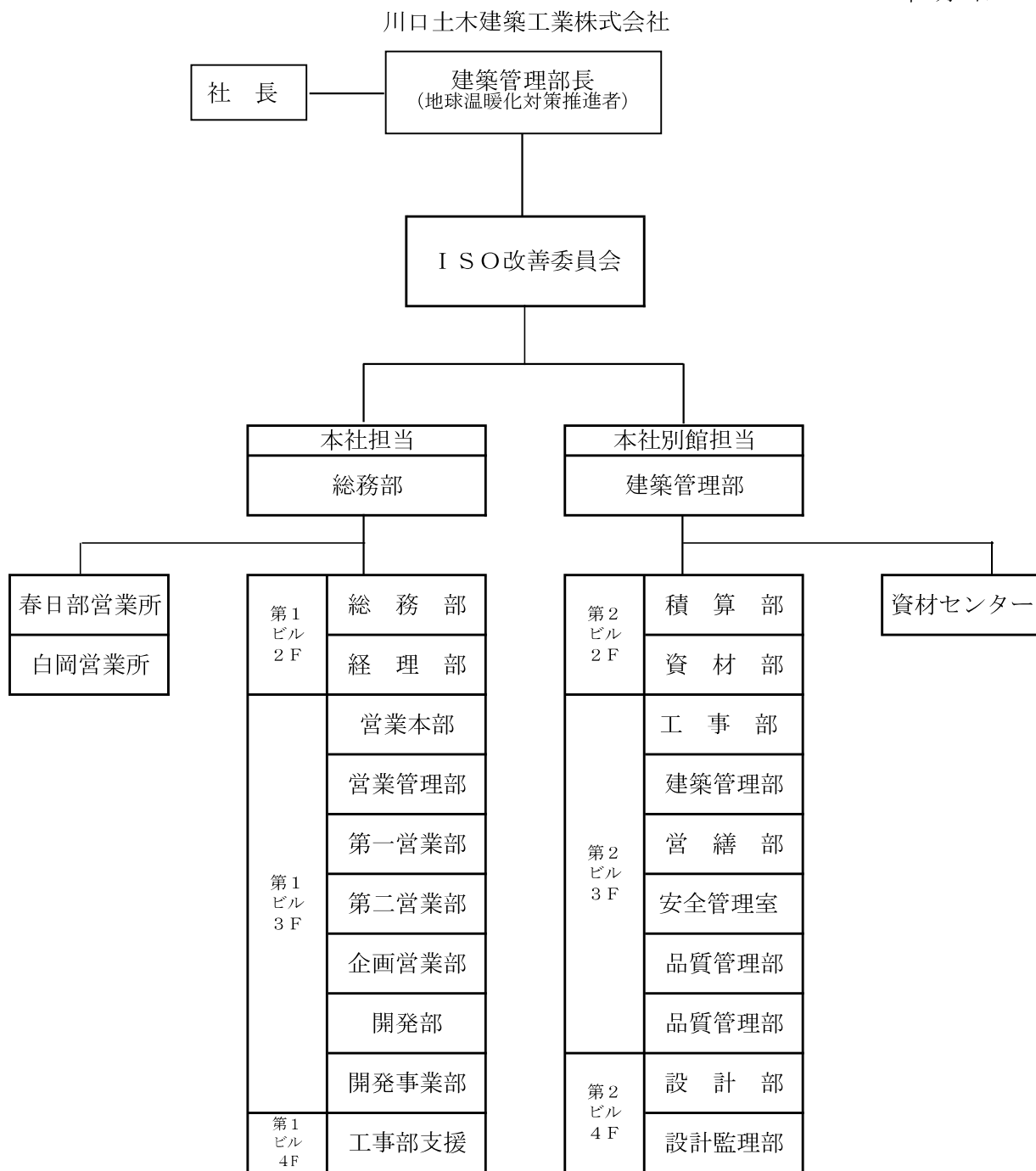
令和 3年 9月 6日

(あて先)  
埼玉県知事

私は、埼玉県エコアップ認証事業所の認証申請するに当たり、環境関係法令又は条例に係る規定のほか事業活動に関する法令若しくは条例、又は公租公課に関する法令若しくは条例に係る規定に違反し、行政処分又は刑罰を受けていないことを申告します。

また、埼玉県暴力団排除条例第2条で定める暴力団、同条で定める暴力団員が事業主又は役員となっている団体、又は同条例第3条第2項で定める暴力団関係者でないことを申告します。

申請者 氏名又は名称 川口土木建築工業株式会社  
住所 埼玉県川口市本町 4-11-6  
法人の場合は代表者の氏名 代表取締役 古川 元一



事業所の一覧表

事業所名	川口土木建築工業株式会社	床面積
本 社	〒332-0012 埼玉県川口市本町4丁目11番6号 TEL. 048-224-5111 (代)	3422 m2
春日部営業所	〒344-0006 埼玉県春日部市8丁目325番地 TEL. 048-754-0180	48 m2
白岡営業所	〒349-0217 埼玉県白岡市小久喜674番地3 TEL. 048-019-2080	30 m2
資材センター	〒333-0866 埼玉県川口市大字芝6940 TEL. 048-266-0936	191 m2